

文芸コーナー

花菜風窓磨かれて閉校す
 涅槃西風浜の瓦礫へよもすがら
 噴煙の余白の空を鳥帰る
 復興に首振る春の掘削機
 風出でて心なく降る花の雨

木刈 渡辺 敏子
 内野 葛西 節子
 小林浅間 榎本聖游子
 高花 尾張フミ子
 原 今野 肇

俳句

田口三石選

短歌

加藤恵美子選

鴉鳴き風音透る里山に色失せ白き瓜瓜垂る
 大森 三ツ木絹江
 冬の日のはや暮れ電車にわが街のあかりの見えて駅に近付く
 原山 小川 正子
 幾つもの残り毛糸を用いたる母の手編みのベスト暖かし
 西の原 新井 陽子
 嫁す母の道中まとひし花衣つるしびなにと裁つをためらふ
 大森 木村 文子
 三十路にて逝きたる友の命日に思ひ出偲び心合わせり
 小倉台 山田 明

今号から田口三石氏が俳句の選者を担当します。昨年度までの選者・五十嵐正雄氏には、平成17年の7月15日号から約7年間にわたり選句の労を取っていただきました。心からお礼を申し上げます。

＜短歌・俳句をお寄せください＞
 一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

ほっとレポート



広報レポーター: 現王園 秀志 (原山)

木下発のビッグな夢 「ビッグ雛祭り」に込めて

「トあかりをつけましょ 雪洞にトお花をあげましょ 桃の花」
 ご存じ、サトウハチロー作詞の童謡『うれしいひなまつり』の一節です。桃の節句で歌われ、思わず心がホッコリしてしまう歌ですね。
 この歌をハミングしながら、木下万葉公園南側の一角に佇むビッグ雛たちに会いに行きました。その第一印象は「ギネスに申請すれば即世界記録に認定されてしまうのでは?」というほどのビックリ雛でした。
 その親子雛の展示主催者である市民団体「木下夢探訪」代表の岩井さんにお会いし、ビッグ雛製作までの経緯や今後の観光事業の振興策など、興味深い話を伺いました。
 岩井さんによると「県内には、多くの雛人形を神社参道の石段に飾り付けている所がありますが、ビッグ雛の発想は、同じひな祭りでも、やるからには『木下らしさのあるもの』で、手づくりでどこにもないと考えた結果なんです」とのこと。
 完成には雛形のデザインや本体の強度設計から衣装の花の種類や財源など、数多くの協力者の英知を結集しなければならず、そのために検討事項も多くなり、すべてを収斂させるまでには、苦難の連続だったそうです。
 その苦難の日々を支え続けたものは「少子化で人も少なくなり、元気がない木下を何とか元気にしたい!」という岩井さんたちの強い決意。この決意があったからこそ、木下発の



▲親子雛の胴体には、ビオラの鉢植えを使用。背後の五色幕は、印旛明誠高校の生徒たちの力作で、今年が初のお披露目です

▲夢探訪以外にも多数の団体が参加。お店が並ぶ華やかなひな祭りに

ビッグな実が結ばれたものだと感じました。
 「このイベントを通じて、被災した東北地方のみならずにも元気を届けたい。さらには、成田線沿線に数多い歴史的な文化遺産を観光資源として整備し、成田空港からの来日者に日本文化を提供できたら」と未来への構想を語ってくれた岩井さん。
 話を伺う中で「次代の担い手にイベントの継続をどのようにに伝承するのか?」と心配になりましたが、その篤い志に不安も払拭され、今後も木下から多くの夢を発信し続けていってほしい思いで、一杯になりました。
 ひな祭りの当日、少しでも春めいた麗らかな日和の会場では、竹袋稲荷神社の願い札、つるし雛、甘酒、手作りお菓子なども販売されていました。
 来年には「いんざい君」も来場してくれるかも知れません。みなさんもビッグ雛とのコラボにご期待ください。

施設ガイド



広報レポーター: 美馬 光実 (戸神台)

総合福祉センター



▲オープンスペースでは自宅にしているようなひとときを満喫

知っていても、概要を知っている市民のみならずは意外と少ないかも知れません。平屋建ての解放感溢れるこの施設は「中央老人福祉センター」、「子どもふれあいセンター」、「地域福祉センター」、「福祉作業所コスモス」の4つの施設のほか、社会福祉協議会の事務所が入った複合施設で「環境と人にやさしい施設」といったコンセプトのもと、平成



人気の「いこいの湯」(上)のほかに、レクリエーションホールも完備

9年に開所しました。広々とした館内は、すべて土足厳禁で、廊下は3mと幅広く、一部のエリアが床暖房になっているので、子どもたちが自宅感覚でく



つろぐことができます。わたしが訪ねたこの日も、多くの子どもたちと保護者のみなさんで、賑わっていました。
 高齢者のみなさんは、将棋や社交ダンスなど、各々サークル活動を楽しんでおられました。
 この施設の大きな特徴に「いこいの湯」と名付けられた高齢者が利用できるお風呂があります。
 館内の奥へ進んでいくと、銭湯ながらののれんがあり、これをくぐると檜貼りの立派なお風呂が現れます。1日の利用者が100人以上にもなる、人気のお風呂だそうです(市民無料・市民以外500円)。
 お風呂上がりには、マッサージコーナーでリラック

「いこいの湯」は、普段は高齢者にのみ開放されていますが、土・日曜日は「ふれあいデー」といって、市民であれば誰でも、無料で入浴することができま

最後に、案内して頂いた中央老人福祉センターの渡邊さんから「小さい子どもと保護者のみなさんの交流・リフレッシュの場としてぜひご利用ください」と話してくれました。
 みなさん、気軽に足を運んでみてください。
 総合福祉センター ☎0144

リサイクル情報広場

掲載情報は3月29日現在
 ☎グリーン推進課グリーン推進班(☎内線 383)

- ◆ゆずりませ情報 (有料の物は希望価格)
 - ①ベッドガード柵(800円)②テレビ用の台(2000円)③額ぶち(絵を入れる額)
 - ④エレクトーン(FDD付き)⑤千葉商科大学付属高校の制服⑥男子ランドセルの買い物カート(ヘルスバック)⑦水盤⑧冷凍冷蔵庫(5000円)。
 - ◆さがしています情報
 - ①小学生用の昔の遊具(けん玉、こまなど)②印西中学校の女子制服と運動着
 - ③しおん幼稚園、男女体操服(大きめサイズ希望)④きかり幼稚園男女制服(体操服旧型)⑤天神幼稚園女児制服、ブラウスなど⑥犬用母乳車⑦もとの幼稚園の男児制服⑧しおん幼稚園の男児制服⑨MDウォークマン⑩ベビーカー(A型もしくはB型)⑪リカちゃん人形 11 補聴器。
- ※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。

